

令和元年度「地域発 元気づくり支援金」事業実施結果(木曾地域)

番号	主事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 ①:ソフト事業 ②:ハード事業	事業費(円)	支援金額(円)	講評
1	保健、医療、福祉の充実	ソフト	デジタル技術の活用による高齢者見守り事業	上松町	高齢者の安心・安全な生活を確保するため、カメラ・センサー等を貸出し、デジタル技術の活用による高齢者の見守り体制をモデル的に実施 ①屋内用カメラ等(395千円)、人感・開閉センサー(68千円)、制御機器(142千円)、通信装置(321千円)	997,780	740,000	モデル世帯より好評を得て全世帯継続使用することとなり評価できる。また、見守り支援員の増加などの効果もみられた。今後も事業を継続し、緊急時の早期対応への取組をの推進を期待します。
2	保健、医療、福祉の充実	ソフト	「地域の皆さんと一緒に認知症予防！」	特定非営利法人のぞみの里	地域住民が認知症への理解を深めるための講演会を開催[2年目] ①講師謝金(600千円)、旅費(70千円)、使用料等(26千円)、印刷通信費(174千円)	861,004	447,000	ワークショップによる講座で参加者が理解を深め、スキルアップにつながった。地域住民の認知症及びその予防についての理解の深まりにより、地域の福祉・介護の充実を期待します。
3	保健、医療、福祉の充実	ソフト	信州子どもカフェ「なんでも体験わくわく隊」人材育成事業	社会福祉法人大桑村社会福祉協議会	児童に手作りおもちゃでの遊びを指導できる担い手を育成するため、おもちゃインストラクター養成講座を開催 ①講座開催費(240千円)、講師旅費等(29千円)、広報費(41千円)、道具類購入(81千円)	389,572	309,000	30名のおもちゃインストラクター養成による担い手組織化は大きな成果です。この組織を活用して今後の子どもの居場所づくり活動がより活性化することを期待します。
4	保健、医療、福祉の充実	ハード	障がい者の就労機会の確保と作業代の増収事業	社会福祉法人南木曾町社会福祉協議会	障がい者の就労機会を確保するとともに作業代増収を図るために必要な機材の導入 ①資源回収コンテナ(440千円)、焼き芋機(418千円)	851,272	567,000	利用者が増える中で、機材を導入し収入の増額を図ることができた。また、地域住民との関わりが就労意欲の向上につながる様子もみられた。今後も就業機会の確保と工賃向上への取組を期待します。
5	保健、医療、福祉の充実	ハード	宅幼老所機能強化事業	大桑村	介護予防に効果のある体操教室(ハッスル体操)や世代間交流活動の場を確保し、様々な福祉サービスを主体的に提供していくため、施設の機能強化を図る。 ②建物増築(1,303千円)	1,237,500	928,000	増築したことにより、ハッスル体操利用者及び開催頻度が増え、高齢者の介護予防に貢献できたようです。また、世代間交流の活動も活発になり、今後は、地域の宅幼老所の核となる施設となっていくことを期待します。
6	教育、文化の振興	ソフト・ハード	All 南木曾！健康推進プロジェクト	特定非営利活動法人なぎそチャレンジクラブ	町民の運動不足を解消するための小学生スポーツ教室、バブルサッカー体験会・交流会、子育て中の母親を対象とした運動教室を実施 ①小学生スポーツ教室道具(484千円)、講師謝礼(90千円)、バブルボール大(525千円)、バブルボール小(465千円)、その他道具(64千円) ②ゴール(205千円)	1,825,266	1,348,000	様々な運動メニューを用意し、参加募集の広報にも工夫を凝らしています。今後事業を継続し、参加者がロコミで楽しさを伝えることにより、運動習慣のない人の掘り起こしがなされることを期待します。
7	教育、文化の振興	ソフト・ハード	開田小学校 水車小屋周辺整備事業	木曾町	昔ながらの稲作作業を授業に取り入れるため、水路改修、造成工事、はぜの設置等、開田小学校水車小屋の周辺を整備[2年目] ①芝生植栽等(79千円) ②水路改修(2,447千円)、周辺造成等(2,248千円)	4,786,900	3,171,000	水路改修及び周辺整備等により、地域住民を講師とし児童との作業など水車小屋周辺を活用した効果が認められた。今後も水車及び周辺の景観等が持続的に維持される活動をしていただきたい。

令和元年度「地域発 元気づくり支援金」事業実施結果(木曾地域)

番号	主事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 ①:ソフト事業 ②:ハード事業	事業費(円)	支援金額(円)	講評
8	教育、文化の振興	ソフト	Local Active-Learning Project 事業	木曾町	大学生による放課後学習支援として、夏期・冬期休暇中に加え、月1回の学習支援を小中学生に行うとともに、都内中学生との交流会等を実施[2年目] ①大学生旅費(140千円)、Tシャツ購入(45千円)、住宅借上料(325千円)、中学生旅費(132千円)、wi-fiルーター借上料(20千円)	496,020	396,000	学校以外での学習機会の拡充、都市との交流の2つの面で効果が認められた。 他地区への普及も含め継続的に検討を進めていただきたい。
9	教育、文化の振興	ソフト	祭り文化景観形成事業	日義地域自治協議会	宮ノ越地区で100年を迎えた「長持ち行列」と鎌倉時代から続く「らっぽしょ」の祭りごとを魅力あるものにし、伝承及び継承していくため、地区の祭り街道に弓張提灯を設置 ①提灯デザイン費(33千円)、弓張提灯製作(2,073千円)、和紙提灯(194千円)	2,301,912	1,725,000	祭りの活性化による地域の結びつきの強化、観光振興等様々な面での効果が認められた。 地域の伝統の継承に今後も取組をお願いしたい。
10	教育、文化の振興	ソフト	木曾地域における学びあい(合い・会い)創出事業	木曾マナビネットワーク	木曾地域で開催される学びの情報を得ることができるサイトを作成・情報発信するとともに、新しい学び講座を開催 ①WEB製作(216千円)、広報費(318千円)、講師謝金(295千円)、講師旅費(112千円)、コーディネート謝金(200千円)	1,109,460	832,000	「学び」をキーワードにした情報発信により地域内・外の人の交流促進に効果が認められた。 WEBページに関しては、鮮度を保てるよう更新等を随時進めていただきたい。
11	教育、文化の振興	ソフト	木祖村開村130周年記念事業(木祖村歴史写真展)	木祖村	木祖村開村130周年を記念し、村の歴史を振り返る歴史写真展及び村内の展示会場を巡るスタンプラリーを開催するとともに、写真の常設展示を行う。 ①写真製作等(104千円)、額縁購入(650千円)、スタンプラリー開催(93千円)、展示用机レンタル等(109千円)	819,866	607,000	イベントによる集客数でほぼ計画どおりの数字を達成されました。今後事業で作成したツール等を活用して、地域文化の後世への伝承と観光資源としての更なる活用を期待します。
12	安全・安心な地域づくり	ソフト	災害に強い地域づくり推進事業	木曾町	「御嶽山安全パトロール隊」による御嶽山登山者への安全監視・指導に加え、HPや街頭における啓発活動を実施[5年目] ①リフト借上料(307千円)、隊員用雨具(251千円)、山小屋使用料(2,120千円)、宿泊費(1,929千円)	5,716,200	3,686,000	7月1日からの開山及び剣ヶ峰頂上までの登山道一部規制緩和では、登山者への情報提供や登山道整備などパトロール隊による山の監視や啓発業務に効果が認められた。 今後も、ヘルメットの着用など登山者の安全対策への意識高揚が図られるよう持続的な活動を実践していただきたい。
13	安全・安心な地域づくり	ソフト	火山防災に関する知識の普及啓発と御嶽山の魅力発信事業	御嶽山火山マイスターネットワーク	火山マイスターが火山防災の啓発と御嶽山の魅力発信を的確に行っていくための講習会及び現地研修会を一般参加者も募り開催 ①講師謝金(60千円)、講師旅費(56千円)、広報費等(46千円)、物品購入費(303千円)	472,509	357,000	マイスターのスキルアップには大きな成果を上げたと考えます。今後は、登山者アンケートなど貴重なソースを大いに活用し、地域の象徴である御嶽山を子どもから高齢者までが誇りに感じ、後世にその思いを継承されるべく活動されるよう期待します。

令和元年度「地域発 元気づくり支援金」事業実施結果(木曾地域)

番号	主事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 ①:ソフト事業 ②:ハード事業	事業費(円)	支援金額(円)	講評
14	安全・安心な地域づくり	ソフト	地域住民と小中学生が一緒に学ぶ防災教室	開田高原地域協議会	高齢化に対応する自主防災力を向上させるため、地域住民と小中学生が一緒に学ぶ防災教室を開催[2年目] ①防災備品整備毛布(173千円)、ダンボールベッド(177千円)、パーテーション(469千円)	819,396	654,000	継続的に住民主体の防災対策に取り組んでいることは評価できる。他方で内容はオーソファックスなものに留まっており、事業そのものの防災意識の普及啓発という点での効果は認められるものの、支援金活用事業という点では先進性・創意工夫という点では改善が必要。
15	安全・安心な地域づくり	ソフト・ハード	自主防災行動力向上事業	木曾広域連合	自主防災行動力の向上を目的とした「消防フェア」(29年度～)を充実させるため、体験型訓練の教材等の購入及び広報の充実 ①子供用安全具(33千円)、横断幕(49千円)、ポスター(23千円)、消耗品(11千円) ②ミニ消防車製作(200千円)、119番通報訓練装置(698千円)、テント(651千円)、AEDトレーナー3台(312千円)	2,006,050	1,324,000	防災意識の向上を目的とした事業であるが、子どもも対象としており教育という側面からの効果も認められる。 消防フェアでは消防本部一丸となり対応しており、アンケート結果では参加者の満足度が非常に高くなっている。 内容も工夫がされている。特にミニ消防車は、ゴルフ場で廃棄されたカートを活用して費用面を工夫していることに加えて、見た目も子どもの興味を引くような工夫がされており、創意工夫が認められる。 事業全体として、当初の目的以上の効果が認められる 優良な事例である。
16	環境保全、景観形成	ソフト	木祖村景観形成推進事業	木祖村	しらかば平別荘地周辺及び木曾川河川敷の支障木伐採するとともに、小木曾大原地区を桜の名所とするための雑木の伐採等環境整備を行い、木曾路の景観整備を行う。[3年目] ①しらかば平別荘地支障木伐採(1,650千円)、木曾川河川敷支障木伐採(3,599千円)、大原地区桜の名所づくり(1,100千円)	6,037,980	4,803,000	支障木伐採は、景観形成だけではなく、国土強靱化、獣害対策にも効果が高い。 植物に関わることであり、今後の定期的な手入れをお願いしたい。
17	特色ある観光地づくり	ソフト	信州・上松イルミネーション事業	信州・上松イルミネーション実行委員会	冬期における観光誘客のため、孟宗竹とLED照明を組み合わせた「竹イルミネーション」を製作し、町営マレットゴルフ場及び上松駅前に設置する。また、併せて星空の観測会を実施[2年目] ①制作用資材(648千円)、工具(185千円)、チラシ、ポスター(238千円)、竹イルミネーション配線工事(491千円)	1,579,912	1,217,000	メイン会場への設置だけでなく、上松町駅前や各商店の店舗前、個人宅前などにも設置ができ、地域への広がりが見えてきた。 今後は地域住民の関わりを増やし、冬季の目玉イベントとして育っていくことを期待したい。
18	特色ある観光地づくり	ソフト	中心市街地木製看板設置事業	木曾町	木曾福島中心市街地商店街の活性化を図るため、木曾五木等の地元産材を使用した商店の木製看板の設置 ①補助金(3,850千円)※50基分	3,850,000	2,240,000	地元木材を使用した木彫り看板の設置により、街の景観の統一化が進んだ。 今後は看板をきっかけとした誘客を促進する取組が求められる。

令和元年度「地域発 元気づくり支援金」事業実施結果(木曾地域)

番号	主事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 ①:ソフト事業 ②:ハード事業	事業費(円)	支援金額(円)	講評
19	特色ある観光地づくり	ソフト・ハード	見える木曾馬の里づくり事業	木曾町	木曾馬を活用した観光地づくりを進めるため、試験放牧地の造成・観光調査、牧草地の復元及び木曾馬の保存活動資金とするため、サポーター証明書の販売機・看板を設置 ①飼料・種(185千円)、GPS(69千円)、証明書カード(112千円) ②牧草地造成(3,500千円)、馬小屋(648千円)、水飲み場(432千円)、発券機(1,478千円)、看板設置(2,103千円)	6,725,014	4,457,000	木曾馬を国道沿いの目に入りやすい場所で放牧することにより、視覚的に印象づけができたほか、意識調査を行うことで、センターへの支払い意識額や景観的魅力を感じる人が多くいるなど、今後の活動の参考となる成果が得られている。 引き続き、木曾馬を観光資源としてアピールし、木曾馬の里リニューアルに向けた具体的運営方法などを検討する必要がある。
20	特色ある観光地づくり	ソフト	木曾ブランドコンセプトに基づく情報発信事業	木曾観光連盟	改修してきたホームページ「木曾路.com」に外国人ブロガー等による記事掲載を行うことで、増加傾向にあるインバウンドに対して、木曾の強みを活かしたコンテンツ発信[3年目] ①情報発信業務委託(4,367千円)、記事掲載サイト作成(365千円)	4,732,200	3,785,000	写真をふんだんに使用していること、旅行の行程が時間で表示されていることが、より旅行のイメージが湧きやすくしていると考える。
21	特色ある観光地づくり	ソフト	中山道鳥居峠美しいトレッキングコースづくり事業	中山道鳥居峠観光宣伝協議会	鳥居峠の両入口側で新元号記念植樹を行い、中山道の景観整備をするとともにJRのさわやかウォーキングに合わせた誘客促進イベント等を行い地域活性化を図る。 [3年目] ①景観整備(植樹)(301千円)、ウォーキングイベント(30千円)、誘客促進イベント宣伝(181千円)、ツアー広告掲載(89千円)	408,996	311,000	植樹した周辺は整備されており、道の雰囲気が変わる境界を緩やかに演出している。カエデが大きく育ち、紅葉すると峠の入り口を鮮やかに彩るだろうと期待する。 既に元気のない木が見られたので、維持管理には細かな配慮をお願いしたい。
22	特色ある観光地づくり	ソフト	木曾地域のブランドPR事業	木曾広域連合	日本遺産をアピールするため、木曾圏域誘導等のサインに日本遺産の看板を設置し、またバス・タクシー等にマグネット式のロゴマークの貼付する。 ①圏域サイン・87箇所(2,427千円)、案内サイン看板・10箇所(318千円)、マグネット・310枚(260千円)	3,139,257	2,511,000	バス・タクシー等へステッカーを設置することで、地域住民及び観光客のみならず、設置に協力した事業者も日本遺産を再認識することができた。 今後は、ロゴマークPR版及びステッカーに留まらない事業展開を行うことで、更なるPR効果を期待したい。
23	特色ある観光地づくり	ソフト	木曾観光地域づくり戦略プロジェクト事業	木曾広域連合	経済効果を産み出す観光商品の造成やガイド人材の発掘・育成を図るため、モニターツアーやガイドの一括募集等を行う。 ①滞在交流プログラム(404千円)、ヘルスツーリズム(835千円)、ガイドづくり(189千円)、広告宣伝(1,102千円)	2,011,706	1,110,000	地域資源を活用して観光による地域への経済効果を高め、魅力ある地域づくりに繋げようとする取り組みであり、モデルツアーでのデータ収集やガイド育成について予定した成果を得ることができた。改善点等を踏み台とした次年度以降の発展に期待したい。

令和元年度「地域発 元気づくり支援金」事業実施結果(木曾地域)

番号	主事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 ①:ソフト事業 ②:ハード事業	事業費(円)	支援金額(円)	講評
24	特色ある観光地づくり	ソフト	観光地域づくりと伝統行事の振興	公益財団法人妻籠を愛する会	一石柘立場茶屋等のスタッフ用衣装整備及び文化文政風俗絵巻之行列の備品の更新等を行い誘客促進を図る。 ①スタッフ用衣装(1,567千円)、植樹等環境整備(107千円)、案内看板整備(126千円)、女性用衣装制作(90千円) ②陣幕更新(227千円)	2,118,645	1,682,000	妻籠宿のコンセプトに合った衣装、備品や看板の整備とスタッフの対応の向上が、外国人をはじめとする観光客の増加に繋がった。今後も景観やおもてなしの質の維持向上に努めていただくことを期待する。
25	特色ある観光地づくり	ソフト・ハード	歩ける木曾路再生プロジェクト	木曾町	木曾町日義地区の中山道沿いの案内看板を改修するとともに、義仲館と道の駅木曾駒高原に観光案内用タブレットを整備し、観光客への魅力向上を図る。 ①翻訳用タブレット等購入(106千円) ②案内看板整備(523千円)	620,620	469,000	中山道を歩く外国人が増加していることに対し、看板への英語表記と翻訳アプリ入りタブレットを整備して観光案内を充実させた。今後も来訪者及び滞在時間の増加、満足度の向上につながるよう活用していただきたい。
26	農業の振興と農山村づくり	ソフト・ハード	「花・ひと輝く」里づくり事業	木曾町	農業の担い手不足に対応するため、女性や高齢者でも取り組みやすい花き栽培(アルストロメリア)の講習会の開催や研修施設の設置 ①講師謝金(100千円)、トイレリース(97千円) ②ビニールハウス(4,423千円)	5,171,046	3,466,000	小学生を対象に花き栽培に興味、関心をもってもらい、将来の就農に向けての取り組みは評価できる。アルストロメリアの出荷期は12～5月なので、暖房機を設置、栽培できるようにして、新規就農者のトレーニングほ場として活用できるよう取り組んで欲しい。
27	農業の振興と農山村づくり	ソフト	すんきブランド強化事業	木曾町	若年層の女性や外国人をターゲットに、味覚や成分分析を反映したリーフレット(外国語を含む)や画像収集等により、すんきのブランド強化を図る。 ①リーフレット(406千円)、画像撮影(981千円)、味覚分析(297千円)、成分表示(132千円)、販路拡大(330千円)、翻訳(103千円)	1,264,726	747,000	すんきに係る新たな広告媒体の作成により、すんきの魅力発信につなげることができたと思われる。今後も、すんきのマーケット拡大のため、総合的な販売戦略について取り組んでいただきたい。
28	農業の振興と農山村づくり	ソフト	サル包囲網SNS活用事業	木曾町	有害鳥獣による農作物被害を減少させるため、SNS(グループLINE)を活用し、リアルタイムでのハンドガンによる威嚇・警戒体制を構築する。 ①電動ガン・30台(447千円)、BB弾(97千円)、バッテリー等附属品(300千円)	837,864	628,000	地域住民と町がLINEを活用して、サル対策の追い払いを連携して行うことができるようになり、被害額が軽減された。参加者もサルの追い払いができることを自覚できたので、今後も追い払いが継続できる体制の維持が重要と考えられる。
29	農業の振興と農山村づくり	ソフト	どうもろこし振興事業	木曾町	中京圏に関東圏を新たに加えた都市部在住のどうもろこし購入者と農家を結びつける「どうもろこしオーナー制度」の実施[2年目] ①新聞広告(605千円)、のぼり旗(62千円)、リーフレット(90千円)、収穫祭消耗品(30千円)	706,600	556,000	新型コロナウイルス感染症の感染リスクを考慮すると、オーナー制度継続は難しいと思われる。生産原価を削減することで、生産者の所得向上につながる取り組みを、関係機関と連携して取り組んでいただきたい。

令和元年度「地域発 元気づくり支援金」事業実施結果(木曾地域)

番号	主事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 ①:ソフト事業 ②:ハード事業	事業費(円)	支援金額(円)	講評
30	農業の振興と農山村づくり	ソフト・ハード	新規就農者の地野菜生産を中核にした就農支援事業	王滝村	生産者の高齢化により、王滝カブ、そば、水稲など地野菜の生産が減少しているため、高齢者と若者を対象に体験講習会を開催するとともに、農機具(田植え機、畝立て機、モア)を購入し、貸し出すことで、農作業の負担の軽減を図るとともに、若い人達等の就農支援を図る。 ①講習会消耗品(446千円)、講師謝金(50千円)、 ②農業機械田植え機(1,470千円)、フレールモア(455千円)、畝立て機(430千円)	2,829,492	2,145,000	水稲・王滝かぶ・そばの栽培講習会で営農初心者へ機械利用の講習会を開き、機械作業の担い手を育成するなど機械利用組合の人材確保・育成への取り組みが評価できる。 傷害保険等作業中の事故等オペレータの危機管理について検討をしてほしい。
31	農業の振興と農山村づくり	ハード	伝統猟法「巻狩り」技術の伝承事業	大桑村猟友会	猟友会員の高齢化及び新規会員の確保が深刻化し、野生動物による農林業被害が増加していることから、猟犬を使った伝統的な猟法である巻狩りで使用するGPS搭載端末ドッグナビを購入し、猟友会員の増加を図るとともに、農林業被害の軽減を図る。 ②ドッグナビ狩猟者端末(745千円)、猟犬端末(475千円)	1,220,400	813,000	猟犬を活用する巻狩りに、適法のドックマーカースystemを導入することで、より安全な方法に改善することができることと、高齢者狩猟者の負担軽減と新たな狩猟者の関心を持ってもらうことにつながった。
32	森林づくりと林業の振興	ソフト・ハード	あげまつの木工に出逢うトコ「KINOTOCO(キノトコ)」整備事業	上松町	木工の町としてのブランドを確立するため、「触れる」「作る」「学ぶ」等の要素を集約した施設の整備及び木工作品や木工技術等の魅力をPRするための、サイト・カタログの製作を行う。 ①備品整備(963千円)、webサイト・カタログ制作(1,272千円) ②トイレ等改修(1,998千円)、撮影用機材(585千円)、暖房機器(230千円)	3,640,810	1,853,000	地域起こし協力隊制度を活用した上松町の木工の情報発信拠点、ツールが整備されたといえる。 今後は木の町として地域を巻き込んでの情報発信の取組みが求められる。
33	森林づくりと林業の振興	ソフト	水源の森の魅力を伝える上下流交流事業	木曾広域連合	木曾川下流域の住民を対象に、ワークショップ(名古屋市等)や親子体験ツアー(木祖村)を実施し、上下流交流を推進 ①ワークショップの謝金、消耗品等(102千円)、木工ワークショップの消耗品等(79千円)、体験ツアーの委託料等(399千円)	480,312	321,000	愛知県で開催したワークショップ等ではほぼ目標どおりの参加者数があり、木曾地域への理解・認知度を高めることができた。しかし、日帰りツアーの参加者が少なく、周知が不足していたと考えられるので、周知範囲・期間等を再検討していただきたい。
34	その他(地域の特色、産業の振興及び雇用の拡大)	ソフト	木曾ペインティングス	木祖村	全国からアーティストが集まり、藪原宿の空き家を会場として使用し、地域に眠る魅力を掘り起こし、観光客の誘致につなげる。 ①アーティスト旅費(688千円)、ワークショップ謝金(150千円)、記録集の制作(504千円)、チラシ等制作(337千円)、消耗品等(70千円)	1,339,310	1,047,000	知名度も年々上昇し、予想以上の集客を得られたことは大きな成果です。今後は事業を通じて培われた地域内でのつながりや様々な人々とのネットワークを最大限活用して地域を代表するイベントとしてまた、交流のプラットフォームとして発展していくことを期待します。

令和元年度「地域発 元気づくり支援金」事業実施結果(木曾地域)

番号	主事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 ①:ソフト事業 ②:ハード事業	事業費(円)	支援金額(円)	講評
35	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	木祖村開村130周年記念事業(村歌制作事業)	木祖村	木祖村生誕130周年を記念し、村民から歌詞を募集して村歌を制作し、発表会を開催 ①村歌制作委託(570千円)村歌発表会(793千円)【出演料(407千円)、音響機器等レンタル(275千円)、交通費・宿泊費等(111千円)】	561,000	411,000	事業計画どおり村歌の製作を完了した。 今後は、村歌の定着、また、村歌により村内の一体感の醸成などを図っていく必要がある。
36	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	木育推進事業	木曾町	「おもちゃ美術館」を設立し木育推進を図るため、おもちゃコンサルタントの養成、東京おもちゃ美術館への視察及び木育キャラバンの誘致 ①おもちゃコンサルタント養成の受講料・旅費(3,726千円)、視察のバス借上料・入館料(244千円)、キャラバン誘致の委託料等(1,265千円)	1,148,000	861,000	受講方法がEラーニングコースに変更になったものの、予定通り人材の養成ができた。 育成した「おもちゃコンサルタント」をイベント開催時のボランティアのみに終わらせることなく、施設の運営計画と合わせて通年に渡りどの様に活用していくか、具体的に検討していく必要がある。
37	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト・ハード	みんなの学びは地域の元気へ	特定非営利活動法人ふるさと交流木曾	木曾町黒川地区での地域交流を図るため、ふるさと体験館で上映会を開催 ①映画上映(70千円)、講師謝金(93千円)、材料費他(66千円)、宣伝費(4千円) ②備品費パソコン他(171千円)、プロジェクター他(322千円)	524,572	365,000	人の交流に係る事業であるので、一度で終わるのではなく、何らかの形式で、継続を図って欲しい。 ただし、WITH コロナの時代における「交流」促進に関しては検討が必要。
38	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	新宿・木曾福島線高速バス利用促進対策事業	木曾観光連盟	高速バス路線(新宿ー木曾福島線)の利用者増加を図るため、旅行代理店の窓口担当者等を対象に、木曾の観光スポットや宿泊施設を直接見てもらう視察研修を開催 ①旅費(302千円)、宿泊費(127千円)、施設利用料等(92千円)	700,472	366,000	木曾にお越しいただきたい・おすすめのシーズンや観光地を明確にし、前のめりに売り込む姿勢が欲しい。